

平成29年度実施

○住民の防災意識向上のための取組

- 防災チャレンジ運動会の開催(10/15)
 - ・市内小学生を対象に開催し、46名が参加
 - ・土のう積み上げ競争、防災クイズ、担架を使っての搬送リレー等を実施
 - ・消防、警察、自衛隊特殊車両を展示



- 島田第四小学校での防災教育試行授業を実施
 - ・5年生の児童を対象に学校の教員による「水害から命を守るため」の授業を実施
 - ・市内の他の小学校にも広げるため、校長会にて概要説明の実施
 - ・平成30年度中学校における試行授業実施校を選定(島田第二中学校)



○逃げ遅れゼロのための取組

- ・ヤフー防災速報メール等伝達手段の多重化
- ・雨量基準により自治会長への注意喚起の電話連絡

○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練の実施(6/11)
 - ・島田市消防団員223名 自主防災組織63名が参加
 - ・土のう準備工、月の輪工法、シート張り工法、改良積み土のう工法、積み土のう工法の実施
 - ・国交省、消防、自衛隊車両及び資機材の展示



平成30年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

- 市内小学校での防災教育授業を実施
 - ・小学校へのアンケートにより平成30年度実施校を決定
- 島田第二中学校での防災教育試行授業の実施
 - ・2年生を対象とし、3学期に実施予定
- 第3回防災チャレンジ運動会の開催
 - ・昨年度に引き続き開催する(11月3日開催予定)
 - ・市内の小学生を対象に防災に関する競技を通して知識と意識の向上を図る



○逃げ遅れゼロのための取組

- 要配慮者利用施設避難確保計画の作成支援
 - ・対象施設を地域防災計画に記載
 - ・各施設に対して計画作成のためのワークシートを配布
 - ・簡易水位センサーによる水位観測の実証実験

○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練の継続実施
 - ・各種土のう工法の訓練を継続実施することで消防団、自主防災組織の技術と意識の向上を図る
 - ・静岡河川事務所の協力のもと、市職員による排水ポンプ車操作及び消防団の水のう設置訓練を新たに実施する

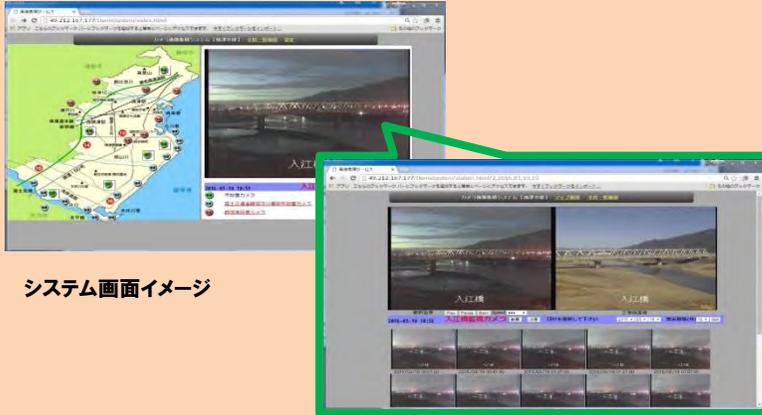


平成29年度・平成30年度の主な取組(焼津市)

平成29年度実施

○逃げ遅れゼロのための取組

◆水防監視システムの導入(H29.6運用開始)



システム画面イメージ

- ・準用河川に監視カメラを設置
 - ・国・県・市の監視カメラ情報を集約
 - ・ホームページを開設、市民へ公開
- ⇒市民の避難判断、水防活動の迅速化

○社会経済被害最小化の取組

◆水防演習(H29.6)

毎年約1,000人参加



地元自治会関係者による土のう作り体験

平成30年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

◆土のうステーションの設置



土のうステーションのイメージ

- ・市民が迅速に洪水被害の対策がとれるよう、市内要所に土のうステーションを今年度から設置予定。

◆児童を対象とした防災教育の実施



防災教育授業のイメージ

H30.9実施予定(市内小学校において)

- ・静岡河川事務所が作成した教材パッケージを用いて、小学校での防災教育を実施予定。

平成29年度・平成30年度の主な取組(藤枝市)

平成29年度実施

○住民の防災意識向上のための取組

- 地区防災連絡会や出前講座の開催
- 水害・土砂災害版図上訓練の開催
 - ・自分が住んでいる地域の危険箇所を再確認し、手作りハザードマップを作成



○逃げ遅れゼロのための取組

- 水害・土砂災害に対する防災訓練の実施
- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成に関する管理者向けの説明会の実施
- IoTを活用した水位計8基、雨量計2基の設置



○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練の実施
 - ・シート張工法、改良せき板工法
 - 大型土のう工法、月の輪工法
 - 木流し工法、積み土のう工法
 - 土のう作り体験の実施



平成30年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

- 地区防災連絡会や出前講座の実施
 - ・地震だけでなく風水害に対する防災意識を高める
- 水害・土砂災害版図上訓練の実施
- 小学生を対象とした水害に関する学校防災教育の実施



○逃げ遅れゼロのための取組

- 水害・土砂災害に対する防災訓練の継続実施
 - ・避難行動要支援者の避難誘導実施
- 同報無線、キックオフメール、エリアメール等伝達手段の多様化



○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練の継続実施
 - ・各種工法の訓練実施や小学生の訓練参加による学校防災教育の推進

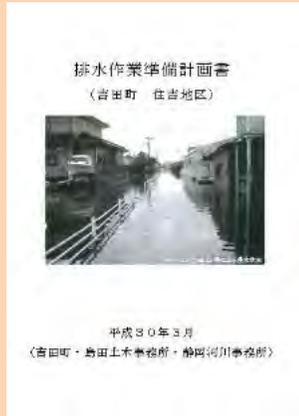


平成29年度・平成30年度の主な取組(吉田町)

平成29年度実施

○社会経済被害の最小化のための取組

●坂口谷川の排水計画の作成



・浸水被害が生じた際に、国の排水ポンプ車等の災害対策車両の出動要請を、迅速かつ的確にできるよう、静岡河川事務所と協力して排水計画を検討。吉田町住吉地先における2級河川坂口谷川水系の内水被害に対して、排水ポンプ車等によって迅速に排水活動を実施することを目的とした、排水計画書を作成。

●災害リスクの高い箇所を地元住民(北区自治会)と大井川の共同点 検を実施(平成29年6月20日)

・北区自治会、吉田町、静岡県、静岡河川事務所が参加。

○住民の防災意識向上のための取組

●町広報誌による洪水情報配信メールの周知

・広報よした5月号に掲載



平成30年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

●よした防災メールの周知

・登録したメールアドレスに町の気象情報など災害に関する情報を、お知らせするサービス。

11月3日開催の小山城まつりにて、来場者に対し登録チラシの配布等、促進活動を実施予定。



○社会経済被害の最小化のための取組

●災害リスクの高い箇所を地元住民と大井川の共同点検を実施予定(平成30年5月16日(水))

●水防演習の実施

・町消防団が参加して、土のう作成等の演習を実施予定

●水防訓練の実施



平成29年度・平成30年度の主な取組(川根本町)

平成29年度実施状況

○地域住民の防災意識向上による 逃げ遅れゼロのための取組

- ・防災行動計画(タイムライン)ダム版を長島ダム
管理所、島田土木事務所と共同で作成した。



- ・長島ダム管理所との定期的な情報交換により
連携強化を図った。
- ・学校の防災教育開催に向けて、教育委員会
および小学校長への説明を行った。

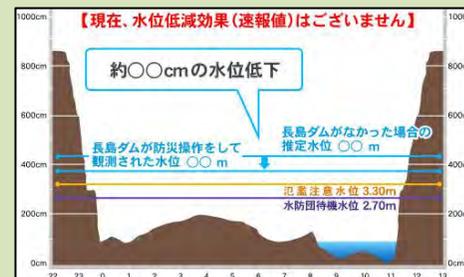
○水害リスク情報等の共有による 確実な避難と被害の最小化の取組

避難確保計画策定のため、社会福祉施設については担当課において策定のための説明会を実施し、一部施設において計画を策定した。

平成30年度取組予定

○地域住民の防災意識向上による 逃げ遅れゼロのための取組

- ・住民の方が、長島ダムの役割、特に洪水調整
について正しい理解を得れるよう、長島ダム
管理所と共同で広報等を行う。



- ・町立中川根中央小学校で開催予定の防災教育
に対し協力を行う。

○水害リスク情報等の共有による 確実な避難と被害の最小化の取組 避難確保計画策定のため、情報提供を行う。

平成29年度・平成30年度の主な取組(静岡県中部地域局)

平成29年度実施

○逃げ遅れゼロのための取組

1 市町風水害版図上訓練の実施(平成29年8月10日)

市町職員を対象に、防災情報の取扱いや避難勧告等の発令判断、国・県と連携した対策の実施など防災能力のスキルアップを目的に、実践的なロールプレイング形式による訓練を実施した。



プレイヤー(演習者)

静岡市、島田市、焼津市、
藤枝市、牧之原市、吉田町、
川根本町



コントローラー(統制)

静岡河川事務所、静岡地方気象台、
陸上自衛隊第34普通科連隊(リエゾン)、
県危機対策課、静岡土木事務所、
島田土木事務所、中部危機管理局

2 避難勧告等の発令に関する意見交換会の実施(平成30年3月22日)

“避難勧告等の適切な発令”や“住民に避難行動の理解を促す”をテーマに意見交換会を実施し、情報の共有を図るとともに、各機関が改善すべき課題の確認を行った。

<参加機関>

島田市、焼津市、藤枝市、
牧之原市、吉田町、川根本町
静岡河川事務所、長島ダム管理所、
県危機対策課、県河川企画課、
島田土木事務所、中部危機管理局



平成30年度予定

○逃げ遅れゼロのための取組

1 市町風水害版図上訓練の実施

平成29年度の訓練の検証結果を踏まえ、市町職員の防災能力の更なるスキルアップを目指し、風水害版図上訓練を実施する。

2 避難勧告等の発令に関する意見交換会の実施

市町の抱える課題の解決や、国や県による市町への助言・支援体制の強化を図るとともに、“顔の見える関係づくり”を目的に関係機関が一堂に会した意見交換会を開催する。

○住民の防災意識向上のための取組

1 メールマガジンによる情報提供

中部地域の企業等(約600件)に毎月、防災情報のメールマガジン「中部防災ニュース」を発信しており、この中で、水害や土砂災害の啓発等に関する情報の発信を行う。



メールマガジン

2 水防災に関する防災教育の推進

地震・津波を中心に進めてきた「防災出前講座」において、近年、全国で多発している風水害について啓発を進める。

中部地域局の担当である藤枝市、吉田町で防災教育を推進する。

6月20日(水)、藤枝市の藤岡小学校において、市教育研究会の研修授業で、教員による“教材パッケージ”を使用した授業を実施する。中部地域局では、職員による模範授業と、当日のサポートを行う予定である。



【参考】防災教育の実施例

平成29年度・平成30年度の主な取組(静岡県島田土木事務所)

平成29年度実施

○確実な避難勧告の発令に向けた取組

1 ホットライン訓練の実施(平成29年6月29日)

島田土木事務所長と管内各市町長とのホットライン体制を構築し、ホットライン体制の相互確認のための訓練を実施した。



発信者
島田土木 石垣前所長



受信者
藤枝市 北村市長

○避難行動を促す取組

2 児童・生徒への水防災教育の実施(平成29年8月2日)

大井川「川まつり」に水ビジョンブースを新設し、水害映像の提供、等身大パネルによる浸水深の確認、雨量計の仕組み体験や水防災クイズなどを実施した。(静岡河川、気象台、旧中部危機管理局)



賑わいを見せるブース



水害映像に興味深々な児童・生徒

○水防災意識社会再構築のための取組

3 県版「取組方針」の策定(平成30年1月26日)

平成29年5月及び12月の幹事会を経て、第2回 志太榛原地域豪雨災害減災協議会を開催し、本地域の取組方針を策定した。



志太榛原地域豪雨災害減災協議会

各取組の進捗管理表

○要配慮者利用施設における確実な避難に向けた取組

4 管内市町担当者向け研修会を開催(平成30年1月31日)

要配慮者利用施設の避難確保計画策定の推進に向け、連携が必要な福祉部局、教育部局も対象にした研修会を実施した。

- 会場 焼津市役所アトレ庁舎
3階大集会室
- 参加者 63名
- 講師 県健康福祉部 政策監
県交通基盤部 土木防災課
県交通基盤部 砂防課
- ※ 近隣土木事務所管内市町の出席有



熱心に聴講する参加者の方々

平成29年度・平成30年度の主な取組(静岡県島田土木事務所)

平成30年度予定

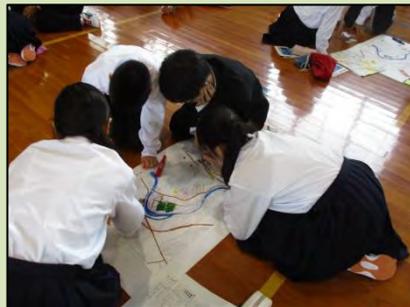
○避難行動を促す取組

1 水害・土砂災害の出前講座の実施(平成30年5月10日)

地域の危険箇所や避難経路を確認するための手作りハザードマップの作成など、適切な避難のための出前講座を実施した。
(藤枝市立岡部中学校 1年生 72名)



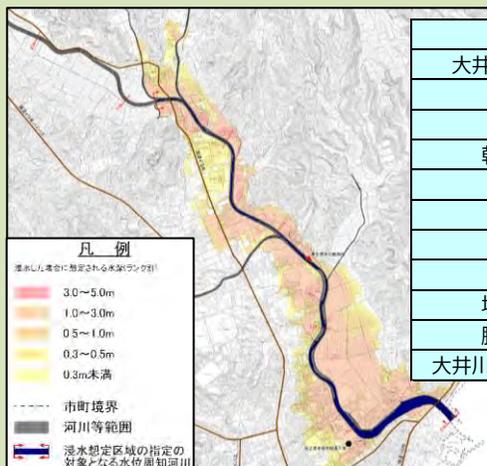
水害・土砂災害映像の放映



各班にて手作りHMの作成

○水害リスク情報等の共有に向けた取組

2 想定最大規模の洪水浸水想定区域図の指定・公表



河川名	想定最大規模	計画規模
大井川(直轄)	公表済	公表済
萩間川	近日公表予定	
瀬戸川		
朝比奈川		
葉梨川		
湯日川	平成30年度中 公表予定	
栃山川		
木屋川		
坂口谷川		
勝間田川	公表済	
大井川(指定区間)		

進捗状況表

【萩間川】洪水浸水想定区域図(平成29年12月26日)指定・公表済

○水害リスク情報等の共有に向けた取組

3 危機管理型水位計及び監視カメラの設置

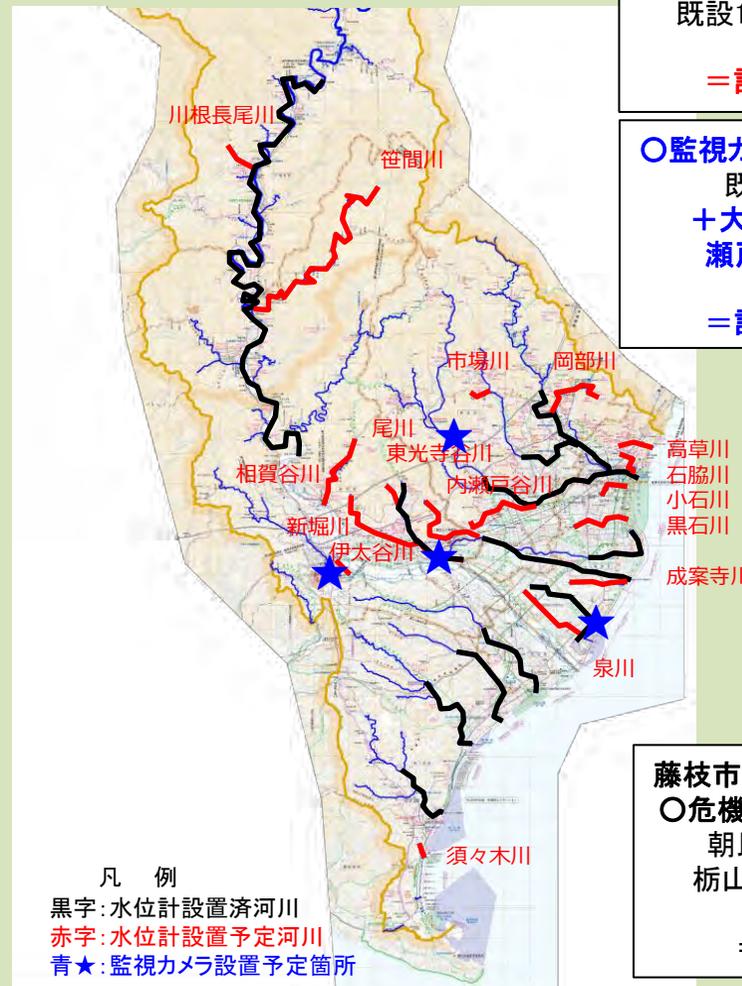
○危機管理型水位計設置
既設14河川 + 17河川

= 計33河川体制へ

○監視カメラ設置

既設 他31河川
+ 大津谷川、大代川
瀬戸川、志太田中川

= 計35河川体制へ



凡例

黒字: 水位計設置済河川
赤字: 水位計設置予定河川
青★: 監視カメラ設置予定箇所

藤枝市(その他)

○危機管理型水位計設置
朝比奈川、葉梨川
栃山川、東光寺谷川

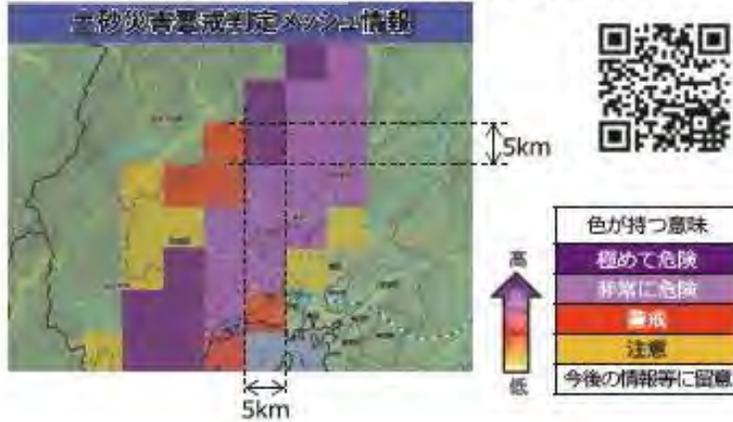
= 4基新設済



危険度分布の提供等の防災気象情報の改善

土砂災害

土砂災害危険区域を1kmメッシュごとに詳しく予想しています

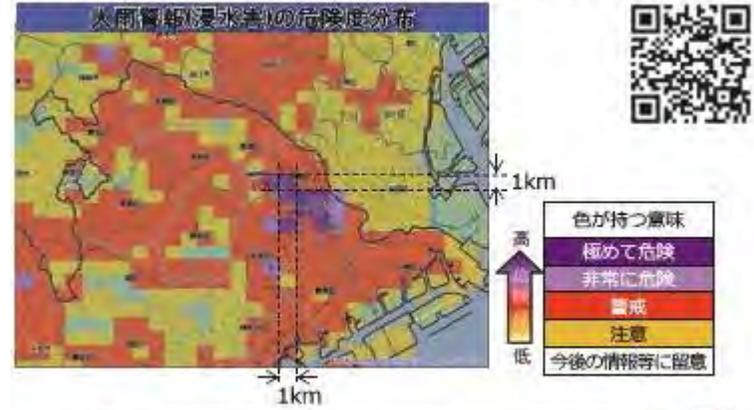


うちは土砂災害警戒区域で、危険度が赤になったわ。今は夕方まで雨もひどくないし、今のうちに避難しましょう。



大雨(浸水害)

浸水害の危険度を1kmメッシュごとに詳しく予想しています



大雨警報(浸水害)が発表されて、危険度が赤になった。地下室からすぐに出よう。



洪水

洪水害の危険度を詳しく予想しています



洪水警報が発表されて、危険度が赤になった。指定緊急避難場所に避難しよう。



これらの「危険度分布」のほか、「警報級の可能性」、「危険度を色分けした時系列」を提供開始。

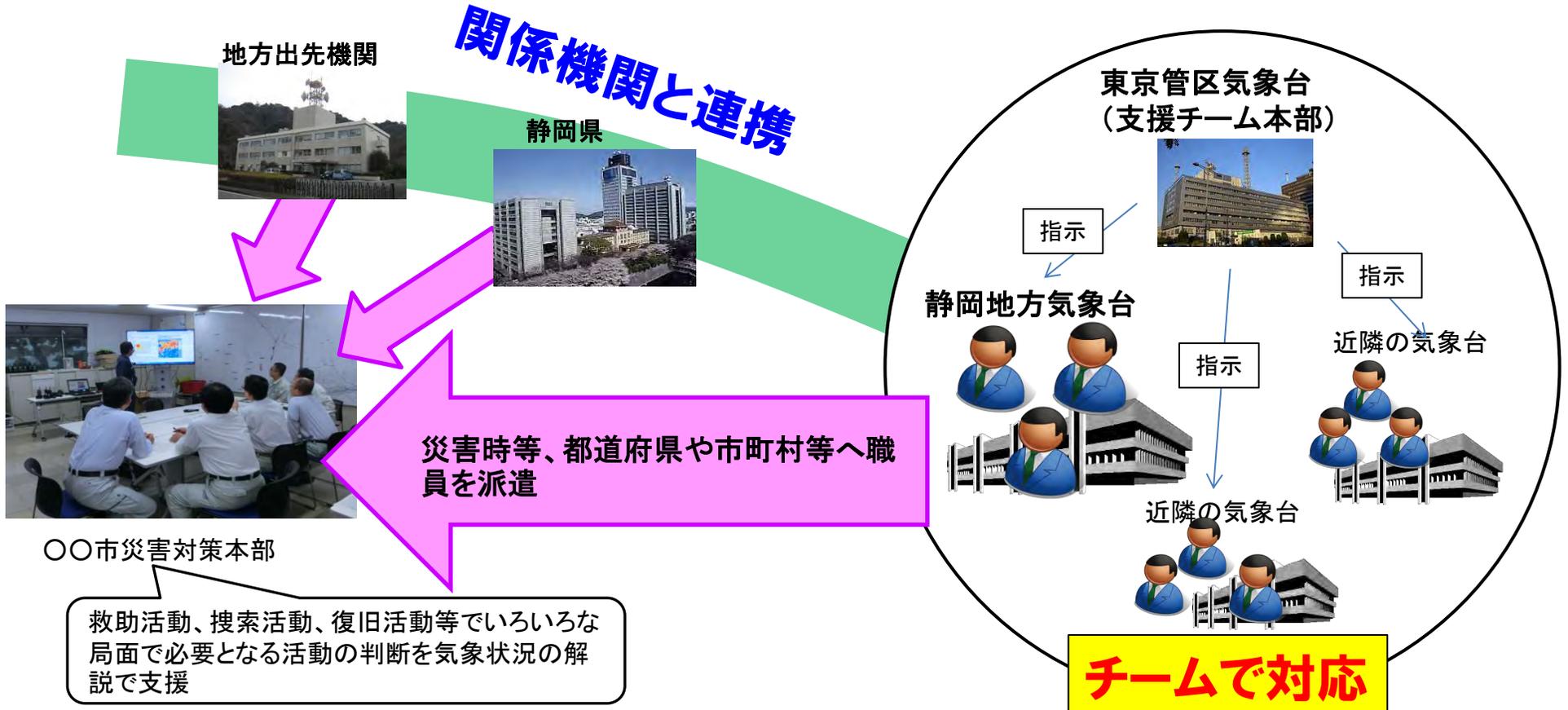
「いつ」、「どこ」が危険なのかをわかりやすく。



気象防災対応支援チームの創設

静岡地方気象台

- 市町村等の防災対応の支援を強化すべく、災害が発生した（又は発生が予想される）場合に、都道府県や市町村の災害対策本部等へ気象庁防災対応支援チーム(JETT)として気象庁職員を派遣。国土交通省のTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の一員として活動。
- 現場のニーズや各機関の活動状況を踏まえ、気象等のきめ細かな解説を行うことなどにより、地方公共団体や各関係機関の防災対応を支援。
- 平成30年5月1日に正式発足。



平成29年度・平成30年度の主な取組(長島ダム管理所)

平成29年度実施

○逃げ遅れゼロのための取組



長島ダム管理所と川根本町及び島田土木事務所が共同で、防災行動計画(タイムライン)ダム版の作成を行った。

○住民の防災意識向上のための取組

長島ダムの役割(治水効果)を地域住民に理解してもらうため、川根本町と共同で広報を実施した。



○ダムの機能を最大限活用する運用方法の取組

洪水時に下流の被害を軽減するため、ダムの機能を最大限活用する洪水調節方法の導入に向けた検討を実施した。

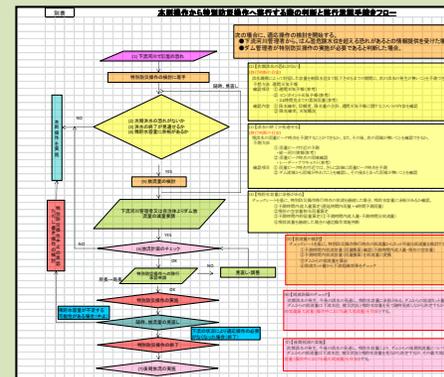
平成30年度予定

○地域住民の防災意識向上による逃げ遅れゼロのための取組

- ・地域住民に長島ダムの役割(洪水調節)を理解していただき、ダムだけでは対応出来ない事態に備え、川根本町との防災強化を図りつつ、適切な避難の必要性について啓発を行っていく。
- ・川根本町立中川根中央小学校で防災教育の実施に向けてサポートを行う。

○ダムの機能を最大限活用する運用方法の取組

- ・洪水時に下流の被害を軽減するため、ダムの機能を最大限活用する洪水調節方法の導入に向けた検討を引き続き実施する。
- ・下流河川で被害が発生又は発生する恐れがある場合に放流量を抑えるための特別防災操作の要領の策定を行う。



平成29年度・平成30年度の主な取組(静岡河川事務所)

平成29年度実施

○ハード対策のための取組



・大井川神座地区等に堤防整備のための護岸工事を実施

○住民の防災意識向上のための取組



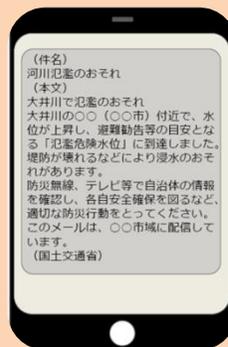
- ・想定最大規模の氾濫シミュレーションの公表
- ・島田第四小学校で防災教育試行授業を実施
- ・中学校での防災教育 資料を大学生と作成

○逃げ遅れゼロのための取組

- ・大井川の洪水時に緊急速報メール の配信を開始(5/1~)
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成に向けた取組を実施

○社会経済被害最小化のための取組

- ・関係機関と調整をしながら「土のうステーションの検討」「水防団等との意見交換会」等の取組を実施



平成30年度予定

○ハード対策のための取組



- ・大井川神座地区の河道掘削
- ・大井川神座地区等の堤防整備のための護岸工事を実施(L=90m)

○住民の防災意識向上のための取組

- ・教員免許更新のための講習に協議会として水防災に関する講座を開設(7/25)



○逃げ遅れゼロのための取組

- ・要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく訓練

○社会経済被害最小化のための取組

- ・排水ポンプ車の操作訓練の実施
- ・市町水防訓練での水のう設置訓練

